

### 第3回 松山駅周辺笑顔あふれるまちづくり推進協議会 会議概要録

開催日時 平成26年3月28日(金)  
午後1時30分～午後2時35分  
場 所 KH 三番町プレイス3階 第1会議室

#### 午後1時30分 開会

##### 《挨拶》

##### 【遠藤副市長】

松山駅周辺整備事業は、松山市の50年先、100年先を見据える非常に大事な事業であり、市民、県民も大変注目している。平成32年度の完成に向けて事業も順調に推移しており、愛媛県が行っている鉄道高架事業について、伊予市松前町の新車両基地・貨物駅の造成や松山中央公園の石手川橋梁整備も進んでいる。松山市が行っている土地区画整理事業も、一部移転、造成が始まっている。また、今年は車両基地跡地の新たな基本構想の策定や駅前広場の検討も始まっている。

本日は、事業の進捗状況、まちづくりのガイドラインの策定について議題としたい、ご議論よろしくお願ひします。

##### 【柏谷会長】

先日、愛媛県から県民所得のデータが発表されたが、松山市は愛媛県全体の一人当たりの県民所得平均を100とした場合、92に落ちており県庁所在地がトップでなく平均を切っているという由々しきことになっている。地方の中心都市であった松山市の流通基盤が崩されてきているという危機感を覚える。

このような中で、松山駅周辺のまちづくりは、今後の松山市の発展、起死回生を図るために極めて重要であり、関係者一同で大きな努力を払っていかなければならない。

車両基地・貨物駅の移転は着々と工事が進展しているが、松山駅周辺のまちづくり、土地利用については活気あふれるというところには至っていない。関係者が一丸となってやらないと松山のまちづくりの活性化はありえないという気持ちで取り組まなければならない。

本日は活発なご意見をよろしくお願ひいたします。

##### 《議題1. 松山駅周辺整備事業の進捗状況》

##### 【事務局説明】

- (1) 鉄道高架事業及び土地区画整理事業等
  - ・愛媛県施行のJR松山駅付近連続立体交差事業と松山市施行の松山駅周辺土地区画整理事業について、進捗状況を説明

(2) 松山駅周辺まちづくり審議会

- ・松山市が JR 四国から取得予定の車両基地跡地の利用について、審議会による基本構想案の検討状況を説明

(3) 松山駅西地区まちづくり勉強会

- ・土地区画整理事業区域内の第一種住居地域である松山駅西地区での地権者による勉強会について、まちづくり手引き作成に向けた検討状況を説明

(4) 幹事会の設置

- ・協議会の下部組織として設置した幹事会について、開催状況等を説明

【A 委員】

- ・先般、神戸、高松、たまプラーザ（神奈川）の3都市の駅を見学してきたが、イルミネーション、建物の雰囲気、花壇の植え方、石畳など非常に綺麗に仕上げている。写真も撮ってきたので参考に回覧していただきたい。（写真回覧）
- ・松山駅も活性化しなければならない。経済が活性化すれば地域も活性化する。

【会長】

- ・地元の方が関心を持っており大変に力強い。

【遠藤副市長】

- ・松山駅周辺については、皆さんからお話を伺い車両基地跡地の施設や駅前広場などについて検討を重ね、より良いものにしていきたい。

【愛媛県警察本部】

- ・松山駅周辺については審議会、協議会等でセクションを分けながら、松山市が中心となって統一的な構想を作っている。また、50年先、100年先の松山駅をどうするかということで取り組んでいる。
- ・松山全体の交通規制について紹介したい。松山市の中心部における交通規制は、昭和49年頃に作られた「松山市総合交通規制計画」をもとに、面的に駐車禁止、一方通行、駐車を認める区間などが決められている。
- ・今後、松山駅の西側地区において新たな開発が着手されていくが、現在の総合交通規制のエリアを広げる形で統一的な交通規制をするべきか、個別規制で望むべきかなど協議会の進捗にあわせ、具体的な工事と齟齬がないよう交通規制のあり方についても踏み込んだ検討をしていきたい。

## 《議題2. まちづくりガイドライン策定に向けて》

【事務局説明】

- ・松山駅周辺拠点地区におけるまちづくりの指針について、協議会で「まちづくりガイドライン」を策定する。その前段として土地区画整理事業を含む広い範囲での松山駅周辺地区に関するまちづくりの戦略である「まちづくりシナリオ」を幹事会で検討しながら松山市が作成していることを説明

- ・今回は「まちづくりシナリオ」のうち、各章の一部を説明
  - (1) 「第1章. 上位・関連計画から松山駅周辺地区の位置づけの整理」の一部
  - (2) 「第2章. 松山駅周辺地区のコンセプトの検討」の一部
  - (3) 「第3章. ゾーン別整備方針」の一部
  - (4) 「第4章. まちづくりガイドライン」の一部

#### 【A 委員】

- ・賑わいはどこからつくっていくか、自分は商売人なので商業を考えるが、公園などの公共施設の整備だけでは賑わいにならないと思う。松山駅にはJR四国の建物が入ると思うが、商業施設を特に力を入れてほしい。
- ・松山駅周辺は、自転車があふれて駐車場も少なく、人が賑わう場所にはなっていない。一方で、大街道、銀天街も車を停めるにはお金が必要で、私も子どもができてから歩こうとも思わない。会長の指摘もあったが、賑わいが小さくなっているような気がして危機感を覚える。
- ・まずは、駅ビルなど商業施設がどのくらいの構想なのか具体的に練らないと駄目ではないか。意見を出せる協議会の場での議論が必要である。商業や飲食店、自転車や駐車場などの交通整備についても、具体的にこうしたいと考え、意見を出すべきではないか。意見を出して、皆で議論していかないと進まない。
- ・アイテムえひめやコミュニティセンターのような空間はイベントでしか賑わえない。どのような方にお金を使ってもらいたいのかを考えるべき。
- ・松山駅に目的がないと立ち寄らないので、特に商業を活性化していただきたい。現状では松山駅周辺は、遠方から来られた方が土産を買うところも少なく、どこでお金を使ったらよいかかわからない状況である。松山駅にちょっと寄ろうと思えるようにしていただきたい。
- ・中心市街地の拠点それぞれで個性も出したいが、まず松山駅周辺については、賑わいを出すための商店や飲食店や駅ビルの規模、そのほか地下道の扱いなど具体的に議論していただきたい。

#### 【会長】

- ・具体的に名前があがったJR四国に賑わい創出についてお考えを教えてください。

#### 【四国旅客鉄道株】

- ・鉄道に乗っていただくことにもつながるので、賑わいは我々にとっても利益になることと考えている。
- ・鉄道敷地に加え民間敷地の土地の活用について、採算性も含めて賑わいづくりを検討中である。今後ともよろしくお願ひしたい。

#### 【会長】

- ・JR四国は駅正面の用地を取得される。松山駅の玄関口を担っていくことになるので、市民が眼を見張るものを実現していただきたい。

- ・広域交流拠点といっても、松山駅の乗降客は市駅の半分から3分の1ぐらい。しかも、通勤通学客が多く、東京・大阪については、ほとんどの方は空港を利用する。そのままの駅のみだけでは賑わいはつukれない。関係者が集って積極的に賑わいを作っていくことが必要である。
- ・一方で頑張りすぎると中心部から困ると言われることもあると思うが、それを乗り越えるぐらいの勢いで取り組むべきである。

#### 【事務局】

- ・松山駅周辺が鉄道高架と土地区画整理で新たに再整備されるが、一体的なまちにしないと賑わいも生まれず、人も集ってこない。この協議会は、皆さんのお考えを話せる範囲で出していただき、一緒にやっいていこうという目的で立上げたものである。今後それぞれ何をするのか、自分達で何ができるのかを議論できる会にしたい。
- ・自転車の交通や駐車場の問題も松山市が主体的に取り組んでいき、今後は案もお見せしていく。

#### 【副会長】

- ・松山駅周辺拠点地区で、賑わいの大部分を担うのは民有地である。市有地については今年度基本構想が作られるが、現実には、特にJR四国とその他の民有地がこの場の機能のほとんどを決めてくる。JR松山駅がどうなるのか、その他民有地がどう考えているのかについて、幹事会で議論を多くしていただきたい。

#### 【会長】

- ・改めて認識して、幹事会で積極的に意見を出していただきたい。
- ・せっかくの地元の熱意がしばむことがないように関係者一丸となって、強い盛り上がりで進めていただきたい。

### 【議題3. その他】

#### 【事務局説明】

- ・まちづくりへの市民参画イベントの開催状況を説明
  - (1) 小中学生を対象にした作画コンクールについて
  - (2) 愛媛大学学生祭へのブース出展について
  - (3) 第3回 JR松山駅周辺まちづくりシンポジウムについて

#### 【B委員】

- ・JR四国に伺いたい。駅ビルの構想はどの程度まで進んでいるのか。
- ・JR松山駅が通過駅ではどうしようもない。コミセンなど市民が遊ぶところの連携ができて、その利用者が松山駅周辺にも消費活動をしてくれないと地域の活性化につながらない。この際、相当規模の大きい駅ビルを作り、商売的に利用するような基本的な構想を持ってないか。

- ・あまり大きい施設をつくと市内の商売人が怒るというお話があったが、そんなことを考えていたら何もできない。
- ・当初から単なる通過駅では駄目で何か目的があって来る駅にしないと発展しないと指摘していた。駅ビルの商業施設に集客力があると思っており、それがないと地域の活性化はないと思っている。

**【会長】**

- ・松山の新しい拠点ということで全市的に取り組んでいただきたい。松山市がリードして、県を引っ張っていかねばならないが現実はそうっていない。
- ・新しい突破口をこの地区に望みたい。全市的な調整が必要であり、全市民が一丸となって前進していくことが必要である。大変な仕事だが、市役所が中心となって進めていただきたい。

**【遠藤副市長】**

- ・松山駅周辺整備は、県都として愛媛県全体の活性化を図る大きな契機であり、その契機をできるだけ活かしていきたい。
- ・この協議会では、皆さんそれぞれで検討し具体化していくことについて、可能な範囲で、この場で紹介しご意見をいただくことで、さらに進めていきたい。これからもよろしくお願ひしたい。

**午後 2 時 35 分 閉会**